

Kimitoの上海レポート]中国でも古着は根付くか。上海で古着文化を広める日本人。

2016.02.29

中国 上海 ファッション

### 上海では貴重な古着店

上海でも屈指のショッピングエリア淮海中路。  
東京表参道や、福岡固国道路のような華やかな通りです。

その淮海中路エリアから少し離れた裏通り五原路に、独特の雰囲気を持つ、一軒の古着屋があります。



お店の名前は「19××-20××」。

コムデギャルソンやアンダーカバー、ネイバーフッドなど、日本でも人気のブランドの古着を取り扱っていて、古着屋の少ない上海で貴重なお店となっています。

実はオーナーは日本人。

オーナーの井野口匡さんは、2012年に上海に移住。  
アパレルの生産管理会社での経験を経て、自身のショップを開きました。

日本で井野口さん自身が消費者として経験してきた古着、リサイクル体験を中国に広めるため、中国のマーケットに合うブランド古着を買い付けし、販売しています。



取り扱いアイテムは日本で買い付ける人気ブランドだけでなく、世界各国で買い付けるビンテージ古着も扱っていて、また、日本ほど馴染みのない中古衣料のリサイクルの概念を伝えるため、お店のお客さんからの委託販売アイテムも取り扱っています。





まだショップオープンから半年ですが、すでにリピーターのお客さんもできてきているとか。

経済成長が緩やかになっていくとともに、感度の高いヒトもどんどん増えてきている上海。これから古着文化は間違いなく発展していきます。

「19××-20××」のような、新しい価値を提供するお店が増えていくことを期待します。

ツイート いいね | 1 0 0 G+ 0

海外情報員 Kimito(兒玉公人)氏 プロフィール



日本のファッションやカルチャーと中国を繋げるために、上海でセレクトショップ、ネットショップを立ち上げた経験をもつ。また、日本ブランドの中国でのPRやブランディングにも尽力。一方、上海の仲間たちとDJイベントも毎年、年に数回開催し、人気を博す。中国のTV、雑誌やWEBなどのマスメディアでの取材、インタビューも多数。2008年より上海在住。